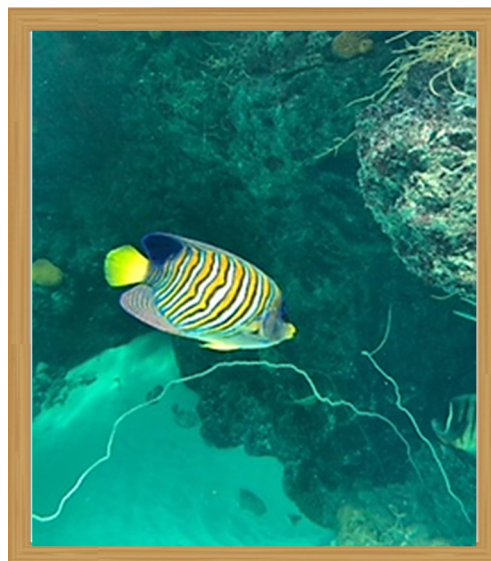


# 筑波のかえる 第39号



脳損傷友の会・いばらき  
2018年6月22日発行

## 僕のMemories



脳損傷友の会・いばらき

〒300-2622

茨城県つくば市要1187-299

筑波記念病院リハビリテーション部内

TEL 080-8430-3365

FAX 029-877-4688

E-mail kojinouibaraki@yahoo.co.jp

H.P <http://www.geocities.jp/nousonshouibaraki/index.html>

## 《 39号内容一覧 》

はじめに（滝沢新会長）	1
役員会から	2
茨城県高次脳機能障支援センターからのお知らせ	3
平成30年度総会	4
新役員から一言	5
退任のあいさつ（丹羽前会長）	6
平成29年度「家族会交流室」を振り返って	7
平成29年度バス旅行	8
県北の広場	10
神栖の広場	11
頑張ってる人④	12
自立訓練（機能訓練）サービス事業所訪問 ①	13
「ほっと・カフェ」のご案内	14
お知らせ	16



今月の表紙は、当事者の滝沢雄太さんが撮った写真です。

テーマは

- ・「家族会の思い出」（上）
- ・「” 18 初雪の夜 ”」（左下）
- ・「The old 'ME'」（右下）

## はじめに

月日が経つのは早いもので、それは歳を重ねれば重ねるほどに強く感じられるように思います。脳損傷友の会・いばらきは活動を続けてきて15年目に入りました。そして、先日開催されました新年度総会において、平成22年から8年間代表を務められました丹羽真理子さんが退任され、今後は顧問としてご協力いた



だくことになりました。まだまだ続けてほしいという声があちらこちらで聞かれるなか、とても残念に思うところですが、お母様としてお嬢さんのサポートをされながらの職責は、さぞかし大変なものだったろうと思わずにはられません。退任後はゆっくりと、お嬢さんとの時間を楽しみたいとのことでした。

これまで家族会では、会員の皆様が日頃の疲れを少しでも軽減できればと、各地域における集会活動、家族会交流室、バス旅行やコラージュ教室、俳句ワークなどの事業を支援者のご協力により立上げ運営して参りました。そして、高次脳機能障害者への理解と支援が是非とも広がることを願い、福祉施策の充実の為に要望書の提出や、様々な講演会・講習会への協力活動も行ってまいりました。皆様に声を届ける広報誌の配布、ホームページの開設、10周年記念事業として発行した「わたしのことファイル」と、丹羽会長はこれ等の事業に家族会の代表として大変ご尽力くださいました。長い間本当にありがとうございました。

後任として、新年度総会において滝沢が会長職を二年間就任することになりました。また、新役員も積極的に参加してくださることになり、正・賛助会員の87名の皆様と共に今後もこの活動を継続していきたいと思っております。

そして、今年度より新たにスタートされました「茨城県高次脳機能障害支援センター」をはじめとする茨城県での高次脳機能障害者支援体制が、実際にどのように私たちの生活に機能され作用されていくのかを、目で見て耳で聞いて、必要な支援が必要な人に受けられる体制を願い、活動して参りたいと思います。

微力ですが、大切な家族が住み慣れた地域でその人らしい生活を送れますよう、役員一同少しでも力になりたいと考えております。是非とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

また、これまでご縁あって家族会を応援してくださっている支援者の皆様方、これからもお力添えをいただけますよう、どうぞよろしくお願い致します。

(滝沢)

## 役員会から

### 平成30年度 脳損傷友の会・いばらき 事業予定

項目 月	会 員	役 員 会	そ の 他
6月	8日 家族会交流室 16日 平成30年度総会 24日 県北集会 27日 神栖集会	22日 役員会	25日 会報紙発行
7月	13日 家族会交流室 25日 神栖集会 26日 県北家族の集い 29日 県南集会		13日 「高次脳機能障 害にかかる地域 カンファレンス」 に協力
8月	10日 家族会交流室 19日 県北集会 22日 神栖集会	役員会（未定）	
9月	14日 家族会交流室 26日 神栖集会 27日 県北家族の集い		2日 リハビリ講習会 15日 会報紙発行 28日 「ホットカフェ」 に講話協力

### 役 員 会 報 告

- 平成30年3月20日 議事 (1) バス旅行について（反省）  
(2) 総会について（日時・場所・内容等）  
(3) 家族会交流室の集計報告
- 平成30年5月18日 議事 (1) 総会について（資料・役割・当事者活動など）  
(2) 会報紙について（内容）  
(3) 「ほっとカフェ」への協力

### 家 族 会 交 流 室 か ら の 報 告

- 平成30年 4月 13日 相談者8組、  
県障害福祉課 森田副参事 村田前副参事 中嶋氏  
ケアステーションモリヤ 米澤氏  
支援センター 小原氏 山中氏
- 平成30年 5月11日 相談者3組  
支援センター 浅野氏
- 平成30年 6月 8日 相談者5組  
支援センター 清水氏



## 茨城県高次脳機能障害支援センターからのお知らせ

皆さんこんにちは。この4月より茨城県高次脳機能障害支援センターのセンター長を務めさせていただいております、小原昌之です。県リハ時代には、相談指導課長として、皆さまといろいろな機会にお会いし、協力しあいながら活動できましたこと、ありがたく、懐かしく思っております。組織は変わりましたが、地域にいらっしゃる皆様への支援活動は、むしろこれまでよりも、充実したものが提供できる体制になっていると考えております。

おかげさまで、現在勤務している常勤職員は、私を含めて5名。全員が県リハの現場で、多くの利用者の支援をしてきた実務者であり、支援コーディネーターです。また、非常勤嘱託医として、リハ専門医の先生方にも医療福祉包括相談の場でご協力をいただいております。

本当に沢山の皆さまの尽力と理解と協力でセンターが立ち上がっていること、何よりも友の会の皆様からの期待と応援に改めて感謝しております。

専門職チームで相談支援や関係機関の支援者への技術支援を密にしながら、生き生きとしたネットワークをつくっていくことに専任体制で取り組んでいるところは、私の知る限り、茨城県が初めてだと思います。積極的に地域に出向いていくモバイル型支援、茨城型技術支援を展開しはじめているところです。

これまで家族の皆さんや支援者のご希望を伺ってみると、支援者の支援が思ったよりも不足していることがわかりました。私たちが直接の支援をしていくといっても、限界があります。むしろ県内の病院や支援事業所、老人保健施設、市町村の行政機関、学校、様々な職場等に、直接出向いての技術支援が必要とされています。もう一つは、当事者や家族を最も適切と思われる支援機関につなげていく支援や支援機関同士をつなげていく調整、すなわち、県内のネットワークの切れめをつなぎ、連携をより質の高い実効的なものにしていくということに地道に取り組んでまいります。



友の会の皆さんへの支援につきましては、これまで通り、コーディネーターが家族交流会や地域の集会に毎回出向き、研修会の講師なども喜んでお引き受けしたいと思っております。また、家族会が抱えている課題等についても、一緒に考えつつ、皆さんとこれまで通りの協力関係を持ちながら、解決に向かっていけるよう微力ながら支援をさせていただくつもりです。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

茨城県高次脳機能障害支援センター センター長 小原昌之

## 平成30年度 総会



6月16日(土)「ふれあいの里石岡ひまわりの館」介護研修室において、平成30年度の総会が行われました。参加者は正会員家族19名、当事者10名、賛助会員6名、支援者1名でした。議事としては、平成29年度の事業報告、決算報告、平成30年度の活動計画案、予算案、そして役員改選案について承認可決されました。中でも、平成22年度から今日までの長きに亘り、会を支えてくださった丹羽真理子会長が退任され、新会長として滝沢静江氏が就任し、新メンバーも加わり新年度が始まることになりました。

総会後は「当事者の語りとコンサート」と題して、プロのボーカリスト藤井ケイチさんの体験談とお仲間の皆さんによるコンサートが開かれました。藤井さんの美しく澄んだ高音に心が洗われ、勇気をいただき、とても素敵な時間を過ごしました。

### 《 当事者活動 》

今年度の当事者活動には7名の方が参加しました。今までの家族会活動ですでに顔見知りの方々もいましたが、初めてのお顔もちらほらと見えました。しかし、活動が始まる前からお互いに紹介しあったりして、何となくいい雰囲気になっていました。

総会が研修室で行われている間、当事者の方々も昨年同様、レストランで過ごすことになりました。窓際の明るい席に全員の顔が見えるように腰かけ、間には3人の支援者の方が入ってくださいました。総会後のライブ取材のために来られていた毎日新聞の記者さんも飛び入りで参加してくれました。

飲み物も目の前に揃い、まずは自己紹介。支援者の皆さんの温かいリードや助言で、和やかで笑いに包まれた自己紹介となりました。そしていよいよメインのカードゲーム「ウノ」の登場です。「去年もやったね。」などと言いながら始まりましたが、やはりルールが難しい。何となく覚えてはいても、1年ぶりなので皆うろ覚えです。説明書を読みながら、支援者の小坪さんがその都度解説を加えてくれます。でも、その立ち止まって「ああだこうだ」と言い合っている様子もまた、ほほえましい光景でした。ゲームが佳境に入った頃、「そろそろライブの時間です。」

というお迎えが来てしまいました。名残惜しかったのですが、来年への持越しという事で終わりにになりました。

お休みにも関わらず、会のために駆けつけて下さった飯田さん、加藤さん、小坪さんに、心から感謝申し上げます。



新役員から一言

★ 石井 安雄【副会長】

この度副会長に選任されました石井です。会を盛り上げながら、会長をサポートできるように努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

★ 小野瀬 須満【副会長】

どのような家族会活動になるか、不安ではありますが、小さな良いことが重なって、気づいたら大きな喜びになっていた。というような希望を抱いて務めたいと思っております。皆さまどうぞよろしくお願い致します。

★ 細川 善満【副会長】

私の家族は三人家族で、当事者の息子は今、東京で就職し一人暮らしをしています。私達夫婦は小美玉市に住んでいます。今回、副会長を引き受けたからには行事にも大いに参加して行きたいと考えています。よろしくお願い致します。

★ 浅野 美津子【会 計】

家計簿もつけたことがなく、パソコンも大の苦手な私ですが、今年度、会計を担当することになりました。とても不安ですが、皆様からお預かりした会費を、間違いなく、会の運営に活用できるように、心を引き締めて頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

★ 石崎 泰子【広 報】

広報を担当して3年目になりました。パソコン操作は相変わらずの初心者ですが、賛助会員の東さんご夫妻に支えられながら、楽しく活動しています。取材で多くの方と出会うのが、楽しみの一つになりました。

★ 黒瀬 宰基【ホームページ】

妻が重篤な高次脳機能障害になりこの会にお世話になっております。このたび、会のホームページを担当させて頂く事になりました。微力ながら勤めさせていただきます。趣味のひとつがパソコンの自作・修理です。この面でもお手伝い出来ればと思っております。

★ 御所脇 美代子【神栖地区委員】

皆さんとのつながりを大切に、そして情報を分かち合えるよう努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

2018年(平成30年)6月17日(日) 毎日新聞 (第3種郵便物認可)

# 不器用でも見守って

## 高次脳機能障害抱え 石岡で音楽ライブ

### 水戸出身の藤井さん

交通事故で脳にダメージを受けて「高次脳機能障害」になった水戸出身の音楽家、藤井さん(38)は分りづらいため音楽ライブが16日、石岡市大砂の「ふれあい」の里石岡ひまわりの館であった。藤井さんも会員である。この障害を抱える人たちの集まり「脳損傷の会」を主催する藤井さん(38)は「音楽に聴き入った。抱えた。」と語った。

藤井さんは2016年4月、交通事故でくも膜下出血を発症。その後遺症で、記憶の一部が消えてしまう記憶障害や、計画を立てられない遠行機能障害などの障害を抱えている。藤井さんは小学校6年生のとき、母にギターをプレゼントしてもらって音楽を始め、中学3年から断つていった認知機能が損なわれる障害。人によって障害の重さや表れ方が異なり、周囲には分かりづらいため「見えない障害」とも言われる。

歌を作るようになってからは、後には「言葉や行動が不器用でも、あたたかく見守ってほしい」と語った。

藤井さんは7月1日にも、水戸市千波町東久保の県立県民文化センターで「高次脳機能障害を抱える人たちの音楽ライブ」を開催する。藤井さんは「ふれあい」の里石岡ひまわりの館で、音楽ライブで歌う藤井さん(38)は「高次脳機能障害を抱える人たちの集まり」を主催する。藤井さんは「ふれあい」の里石岡ひまわりの館で、音楽ライブで歌う藤井さん(38)は「高次脳機能障害を抱える人たちの集まり」を主催する。

【椎澤琴音】

「2年越しの約束」を開催する。チケットは前売り2000円、当日2500円。各種障害者手帳提示で入場無料。問い合わせ・チケット予約は藤井さんのメール (keicho@jitsi3@gmail.com) まで。



★ 笹原 晃江【委員】

今年度、役員を務めさせて頂くことになりました笹原晃江です。友の会の皆さんにいつも支えて頂き、元気を頂いています。微力ですが、できることがあれば何でもさせて頂きますので、どうぞよろしく願いいたします。

★ 宮内 初江【委員】

委員に選出されました、神栖支部の宮内初江です。何を、どこまでできるのか不安一杯です。ただ、協力的精神のみで、サポート頂きながら頑張りますので宜しくお願いします。

★ 村山 正子【委員】

今年度から、お仲間に入れて頂いた村山正子です。二年前の6月、夫が脳出血で倒れ、左半身麻痺と高次脳機能障害が残ってしまいました。私の両親と、中学生の娘と同居、大学生の娘が居ます。よろしく願いいたします

★ 菊地 恵子【会計監査】

この度、会計監査役員となりました菊地恵子です。メダカの卵を孵化させ、家族を増やし、日々メダカに癒やされています。よろしく願いいたします。

★ 佐藤 多恵子【会計監査】

8歳で受傷した息子も今年で32歳。月日の経つのは本当に早いものですね。その分私も年を重ね、体のあちこちがガタついてきました。でも、これからも[今日行く]と[今日用ある]日々をモットーに頑張ります。

※丹羽前会長には、引き続き「顧問」として残っていただくことになりました。

## 退任のあいさつ

今年ももう6月になり半年が経とうとしていますが、会長在任8年間も同じく早いものでした。家族会としての運営が軌道に乗るまで役員の皆さまと試行錯誤の苦しい時期が続きました。その時期に手を差し伸べてくださった方々に救われてきたことに、改めて感謝しております。

会員の皆さまもそうでしょうが役員の皆さまも、当事者との葛藤を抱えながら日々奮闘しつつ活動に参加してきました。役員活動に参加するために、ショートステイや日中預かりサービス、交通手段のお互いのやり繰りなどを駆使して協力して下さいました。家族会としての活動は会長一人ではもちろん出来ないことで、役員・会員の力の集まりで成り立つものです。個々人の思いがあって力に結実し、その協力があって初めて対外的な力を発揮できます。「高次脳機能障害」というただ一点で縁を結び、当事者や家族の生きやすい社会の創造を目指した活動を展開しているのです。今後も、新会長・役員・会員・支援者の協力の元、活動が進むことを願っております。

共に歩んで来ました会員の皆さま、そしてそれを支えて下さいました支援者の皆さまに篤く篤く御礼申し上げます。

丹羽 真理子





## 平成29年度「家族会交流室」を振り返って

### ◎ 月別参加人数

月	当事者	家 族	電話相談	計	内新規者
4 月	2	3	1	6	1
5 月	1	1	1	3	1
6 月	1	4		5	2
7 月	2	4		6	2
9 月	2	4	1	7	2
10 月	3	6		9	
11 月	3	7		10	
12 月	3	4		7	1
1 月	2	1		3	1
2 月	2	3	1	6	2
3 月	2	4		6	1
計	23名	41名	4名	68名	13名

### ◎ 初めての相談者について

- ・ 住所・地域----- 県北 3名、 県南 8名、県西 1名、 神栖 1名
- ・ 年 令----- 30代 3名、 40代 4名、50代 2名、70代 4名
- ・ 発症からの年数--- 1年未満 6名、1から5年 1名、5から10年 1名  
10年以上 5名

◎ 新しい相談者ばかりでなく、来室される家族の方たちの相談の内容は実に様々です。症状への対応がわからない、行政の理解も低く、相談する窓口がわからない、手帳の申請や年金のこと、復職のことなどの専門的なことから、突然のことに家族も受け入れられない、家族間の人間関係にもストレスを抱えているといった、たくさんの悩みを長い間かかえて苦しんでこられた様子がよくわかります。

専門的なことは、県リハビリセンター等の支援者にアドバイスをいただき、居合わせた来室者は、ピアカウンセリングという形で、情報を交換したり、お互いに励ましたり励まされたり・・・。

29年度は、当事者の方たちの参加も増えてきました。初めは緊張しているけれど、次第に打ち解けてくるのがよくわかります。なかなか自ら発言とまではいきませんが、意見を求めたり、発言する機会を提供すると、ゆっくりながらも、いろいろと話してくれます。当事者の人たちは、私たちが思っている以上にたくさんの経験をしたり、考えたりしていることがよくわかりました。これからも、お互いに、さらに自由に意見を交換する中で、居場所づくり、仲間づくりの一助になれる交流室になっていけたらと思っています。

## 29年度 脳損傷友の会・いばらき “日帰りバス旅行”

日時：平成30年3月18日(日)  
行先：福島県「アクアマリンふくしま」  
いわき市観光物産センター「ら・ら・ミュージー」  
参加者：当事者8名 家族：12名 賛助会員：1名  
支援者：9名  
合計30名

三月の春めいたうらかな日とのなか、今年も茨城県作業療法士会、土浦医療圏のユーザー支援事業として、日帰りバス旅行に行ってきました。今回は少し足を延ばして、福島県のいわき市までの旅です。初めて車いすでも乗降しやすいリフトバスを取り入れ、集合場所も土浦と水戸にして、どなたでも参加しやすいよう計画をたてました。支援者も日頃よりお世話になっている木犀会ケアステーション・モリヤの米澤一郎先生、東京医大医療センターの加藤裕子先生、松戸神経内科の木村佐知子先生、そして水戸メディカルカレッジ言語聴覚療法学科学生小林正志トルーマンさんが応援として参加してくださり、総勢30名の賑やかな旅となりました。最初に訪ねた水族館「アクアマリンふくしま」は、2011年3月の震災でほぼ全ての魚を失ってしまったそうですが、それを全く感じさせないほど小型の魚から大型の海獣類まで、とても魅力的な展示でした。イルカショーなどの派手さはありませんが、海、川、山等の自然環境への理解を深めるための施設となっています。可愛いカワウソや、珍しい魚たちを見学して心癒され、その後は「ら・ら・ミュージー」に移動して美味しい魚料理を頂きました。レストランの窓からの眺めは穏やかな海が一望でき、遊覧船や広々ときれいに整備されたデッキが臨めます。この建物も東日本大震災でかなりの津波被害を受けたそうで、再開までには8か月程かかったそうです。窓からの景色は復興に向けてここまで頑張ってきた地元の方たちの力強さを感じずにはいられませんでした。



楽しい時間は瞬く間に過ぎていきます。食事の後は、お土産を探しに魚市場へ。当事者の方も担当してくださる支援者と一緒にお店を回りました。皆さん、美味しいお土産を買う事が出来ましたか？帰ってからの団欒ではお土産をいただきながら、今日の出来事をご家族に報告されたのではないのでしょうか。

今年度、茨城県作業療法士会・土浦医療圏のユーザー支援事業は、11月の「ランチ会」と今回の「日帰りバス旅行」とで、2回実施されました。それは、「回を重ねて当事者と支援者が会うことで顔見知りとなり、毎年行われるバス旅行でより良い支

援を提供できるのでは」とのご提案でした。皆様のお心遣いに感謝しております。そして今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

休日を返上して支援してくださった支援者の皆様、本当にありがとうございました。

### <支援者感想>

- 普段は家族との外出や、仕事以外は外出しないとお話されていたので、それ以外の機会や他者交流の機会のきっかけなれたのは良かったです。初めはこちらからお話かけして答えて下さっていましたが、徐々に当事者の方も話してくださり、家族の方ともお話が出来て良かったです。
- 当事者、ご家族、支援者にとって、皆に意味のある良い企画ですね。会を重ねる毎に色々な変化を感じているようで、それがなによりと思います。継続は力なりですね。
- バス旅行の支援は久しぶりだったので、日常でない所での関りがとても楽しく、リハビリの原点を再認識出来ました。無理のないタイムスケジュールで、各支援者と当事者同士がゆっくり交流出来たので良かったです。



### <家族感想>

- 今年で9回目のバス旅行となり、回を重ねるごとに当事者の皆さんの変化を見ることが出来てとても感慨深かったです。家族もゆっくり話ができ、普段では味わえない楽しさがありました。来年のバス旅行をまた楽しみにしています。
- 障害者を家族に持つ私たちにとって、なかなか簡単に行ける場所ではなく、一日専門の先生たちが支援してくださり、本当にありがたく家族にとっても、ゆっくりと楽しむことができました。これからも是非よろしく願いしたいと思います。

本当に ありがとうございました。



## 県北の広場

平成30年度 第1回県北集会 平成30年4月1日(日)

内 容 : 県北集会の活動スライドショー鑑賞 & 春の歌を歌おう

場 所 : 水戸市福祉ボランティア会館 中研修室

参加者 : 18名(当事者2名、家族3名、支援者9名、学生4名)



例年より早く桜が開花し、  
会場近くの赤塚駅前の桜が満開の日の集会でした。



### ● 県北集会の活動スライドショー鑑賞

平成18年から平成30年までの活動の一部をスライドショーで鑑賞しました。

当初から参加している人たちからは「懐かしい」という声が聞かれました。



最近、集会に参加し始めたばかりの人たちからは

「長い歴史の積み重ねがあって今があることを知ることができた」  
「長い歴史の中で、今、関われる幸せ」という感想もありました。  
参加者のみなさんと共に  
「県北集会の歴史」を振り返ることができる  
有意義な時間になりました。



### ● 春の歌を歌おう

懐メロ、フォークソングなどから「春と花に関係する楽曲」を掲示し、  
参加者のみなさんに選んでもらった歌を歌いました。

選曲にも歌声にもそれぞれの個性があふれ出て、楽しかったです。

30年度も楽しく活動を続けていきたいと思える集会になりました(\*^^\*)



※工夫：マイクは本物ではありません(^-^);メインで歌っている人がわかるように使いました。

## 神栖の広場

☆神栖集会（高次脳機能障害を考える会）の日時の変更をお知らせします。

日 時            第4水曜日（今までは第2水曜日でした。）  
場 所            保健・福祉会館      2階相談室

集会は、毎月行っております。6月、8月、10月、12月、2月、4月は、県の「高次脳機能障害支援センター」から、支援コーディネーターの参加があります。家族同士の情報交換等、話すことで肩の荷が少し軽くなり、笑いが生まれる、そんな場所ですので、ぜひご参加ください。お待ちしております。



神栖市のイメージキャラクターの「カミスコくん」です。鹿島臨海工業地帯の夜景も素敵ですよ。ぜひお出で下さい。

第53回日本理学療法学術研修大会 in 茨城 2018 に参加

5月25日、公益社団法人日本理学療法士協会主催の大会開会式が、つくば国際会議場大ホールにて開かれました。当会へ開会式への参加招待があり丹羽が参加してきました。来賓挨拶として、厚生労働大臣や文部科学省高等教育局長、内閣府地域創世・規制改革担当大臣の挨拶代読があり、大井川県知事や五十嵐つくば市長の挨拶がありました。その他県医師会や作業療法士会など40団体ほどの列席がありました。齊藤秀之大会長の挨拶では、官・職（専門職）・民（当事者家族の団体）の連携でその質を高めるため意欲的な取り組みを目指そうとのお話でした。

（丹羽）

## ◎夢のワンマン Live

水戸市朝日町 藤井 桂一さん

16日の総会で、素晴らしいバンド演奏を聞かせてくれた藤井さんが今回の主人公です。藤井さんは、2016年5月に県民文化センターでワンマンライブを行うことが決まっていた。しかし、その直前に交通事故に遭い、ライブはできませんでした。それから今年7月、素晴らしい仲間たちの協力を得て、再び夢を実現しようとしています。



### ☆普段はどんなお仕事をしているのですか？

清掃業の会社に勤めています。週5日の勤務ですが、高次脳機能障害のため少し疲れやすいので、現在は午前中だけの勤務になっています。午後は好きな洗濯等をして、のんびり過ごします。仕事の内容としては、「ワックスがけ」「エアコンの掃除」「ハウスクリーニング」などがあります。自慢できることは、現在まで『無遅刻・無欠席』だということです。

### ☆音楽を始めたきっかけはなんですか？

小学校1年の頃から音楽は大好きでした。歌手になる夢は、その頃からずっと変わりません。叔父さんが歌手だったことも理由の一つです。ギターとピアノは6年生の頃から続けています。作詞・作曲は中学2年の頃から始め、今までに200曲以上作りました。

### ☆事故に遭ってから、どんな練習をしているのですか？

入院中に、同級生や音楽仲間たちが音楽リハビリを始めてくれました。（自分が音楽をしていたことも忘れていたのですが）ギターもピアノも弾いてみたら、できてしまったのでびっくりでした。今は仕事が休みの土・日に仲間が集まってスタジオ練習をしたり、週に1日はボイストレーニングのレッスンを受けています。

### ☆これからの夢は？

県民文化センターの大ホールでライブをやりたいです。

◎音楽のことを話す藤井さんは、“優しいクマさん”という感じでした。「ラブソングが好き」というのもうなずけます。しかし、事故に遭ってからは「自己啓発的な曲」も作るようになったそうです。周りの人を元気づけると同時に、自分を励ましているのかもしれない。「自分の曲の中で1番好きなのは？」の問いに「優劣はつけられない。全部好き。」という答えが心に残りました。

## 自立訓練（機能訓練）サービス事業所訪問 ①

### 訓練サポートセンター ライフ

住所 常総市豊岡町丙 2894-28

☎ 0297-21-5035

2017年9月 開所

◎自立訓練（機能訓練）

◎就労継続支援B型

※送迎サービス対応



#### 《自立訓練（機能訓練）》

リハビリテーションや歩行訓練、コミュニケーション、家事の訓練などの実践的なトレーニングを中心にを行います。障害のある方などの地域生活への移行を支援します。（理学療法士、看護師、機能訓練指導員等）



#### 《就労継続支援B型》

パティスリー・i t o(糸)という名称で、ケーキの製造・販売を行っています。支援学校や病院、商工会等で出張販売もしています。近い将来、常総市の「ふるさと納税」の返礼品にも参加したいと思っています。

主任の近藤勇希さんにお話をお聞きしました。

現在の事業所は、空き店舗を利用しているため少し手狭ですが、アットホームな雰囲気でも楽しく生活できるよう努めています。また、通所者に対する職員の数も多くして、寄り添った支援に心掛けています。通所者の方（特に高次脳機能障害をお持ちの）が社会復帰をするためには、地域の方々の理解が不可欠です。私たち支援者が職場に出向き社会復帰の懸け橋になることが理想です。

「ファミリハ・カフェ」が変わりました！！

## 高次脳機能障害

家族と関係者のつどい

# 「おはなし処 ほっと・カフェ」のご案内

脳卒中の後遺症や事故受傷後の後遺症などである**高次脳機能障害**は、ご家族でもなかなか理解が難しいものです。さらには、周囲の理解を得にくい障害でもあります。どうか悩みを抱え込まず、「おはなし処 ほっと・カフェ」でほっとしませんか？「おはなし処 ほっと・カフェ」は、ご家族同士での経験の共有、知恵や工夫の分かち合い、こころの交流をしながら参加者が元気になれる場所を目指しています。どうぞお気軽にご参加ください。お待ちしております。

「おはなし処 ほっと・カフェ」は、「茨城県高次脳機能障害支援センター」の協力を得て開催しております。

日 時 毎月第4金曜日 13時30分～15時（裏面の開催日程参照）

場 所 「ひまわり館」または「フロイデ友部」

対象者 高次脳機能障害者のご家族や関係者など

内 容 ミニ講話 と フリートーク

参加費 100円（資料代と飲み物代として）

申込先 「ひまわり館」 笠間市鯉淵 6266-143

0296-71-3133 （担当：弓家<sup>ゆげ</sup>）

「フロイデ友部」 笠間市鯉淵 6525-19

0296-73-5577 （担当：飯田<sup>いいだ</sup>）

「おはなし処 ほっと・カフェ」参加と一言お願いします。

「個別相談」を希望される際は、ご予約をお願い致します





## 「おはなし処 ほっと・カフェ」開催日程

日 程 (時間：13時半～15時)	場 所	三二講話内容
4月27日	ひまわり館	事業所紹介（ひまわり館）
5月25日	フロイデ友部	事業所紹介（支援センター・フロイデ友部）
6月22日	ひまわり館	障害理解について
7月27日	フロイデ友部	夏場の過ごし方
8月24日	ひまわり館	怒りっぽいことについて
9月28日	フロイデ友部	「脳損傷友の会いばらき」紹介
10月26日	ひまわり館	成年後見制度について
11月16日	フロイデ友部	共倒れにならないために 第3金曜日
12月21日	ひまわり館	冬場の過ごし方 第3金曜日
H31年1月25日	フロイデ友部	茶話会
2月22日	ひまわり館	支援はどこに何があるか
3月22日	フロイデ友部	次年度について 他

**申込先** 「ひまわり館」 0296-71-3133 (担当：弓家<sup>ゆげ</sup>)

「フロイデ友部」 0296-73-5577 (担当：飯田<sup>いいた</sup>)

- 「おはなし処 ほっと・カフェ」参加と一言お願いします。
- 「個別相談」を希望される際は、ご予約をお願い致します。



## お知らせ

### ◇おつかれさまでした

「日本脳外傷友の会」の理事長を退任後、事務局長として「JTBI A 事務局めーるつうしん」を発信してこられました東川 悦子氏が、今年度をもって事務局の仕事を終えられました。長い間、ご尽力いただいたことに心より感謝申し上げます。お疲れ様でした。

### ◇古切手

皆さんが集めてくださった古切手 2863枚 を、つくば市社会福祉協議会に届けてきました。ありがとうございました。

### ◇ご寄附をいただきました

- ・大賀 優 様（都立大塚病院 脳神経外科）
  - ・株式会社 ロードサービス関東 様
- ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

## お悔み

当事者会員の鯉淵栄二様が、平成30年4月22日に逝去されました。  
つつしんでご報告いたします。ご冥福をお祈りいたします。

## 編集後記

この4月から、「高次脳機能障害」を取り巻く県の体制が大きく変わりました。と同時に、私たちの会にも大きな変化がありました。6月16日の総会で役員改選案が可決され、滝沢新会長を中心に、新たなスタートを切ったのです。新役員の方々が新しい風を吹き込んでくれるでしょう。この「筑波のかえる」も、会員の皆様に、いろいろな情報を発信できるように努力していきたいと思いますので、皆様の声もどうぞ遠慮なくお寄せ下さい。（ホームページも併せてご覧ください。）

